

# 梅之木通信

## 【縄文住居をつくる会】

第19号 2020. 8. 31 発行

### 縄文住居をつくる会 Vol.2 スタート

1年以上かけた縄文住居も無事完成し、いよいよ『縄文住居をつくる会 Vol.2』が始まります。9月からの新規作業の開始にあたり29日に梅之木遺跡で説明会が開催されました。当初は展示室内での説明会を予定していたのですが、新型コロナウイルスへの感染対策もあり屋外に椅子を並べての説明会になりました。日差しはまだまだ強いものの、軒下を吹き抜ける風が気持ちよく、少しは秋が近づきつつあることが感じられ、これからの作業にも新たな意欲が湧いてきたのではないかと思います。

#### 1) 市民ボランティアとして

昨年は、ふるさと倶楽部同好会が一棟の縄文住居を建設し、並行して市民ボランティアがもう一棟縄文住居を建てる予定になっていました。我々の方は無事完成まで至ることができましたが、もう一棟の方はあまりボランティアの人たちが作業に集まらず建設途中のままです。

そこで建設を継続させるため、今回は我々も市民ボランティアのグループとして参加することとしました。

特に、何かが変わる訳ではありませんが、市民ボランティアの方の参加があれば一緒に作業をすることがあるかもしれません。

また、ボランティアが建設予定であった縄文住居の建設とともに、今まである縄文住居のメンテナンス作業をおこなう場合も出てくると思われます。作業予定はできるだけ事前にお知らせしていきますが、今までどおり現場監督の熊造園さんと一緒に作業を行いますので安心して作業に参加してください。



#### 2) ボランティアポイントについて

梅之木遺跡公園での縄文住居建設作業も、北杜市の介護支援ボランティア事業の一環として認定していただくことができました。これにより、今年度から梅之木遺跡公園での作業がボランティア活動として北杜市のボランティアポイントの対象となりました。

詳しくは以下の URL を参照してください・

(<https://www.city.hokuto.yamanashi.jp/genki100/yobou/volunteer.html>)

### ◆介護支援ボランティアポイント制度の概要

介護支援ボランティアとして登録した者が、受入施設等においてボランティア活動をしたとき、また市等が指定する事業等に参加したときに、ポイントが付与される制度です。年度末まで活動して貯まったポイントは、活動交付金に転換できます。

【対象者】市内在住の65歳以上の方（要介護認定者、介護保険料未納者は除く）

【ポイント】1時間の活動で、「元気よぼう手帳」にスタンプを1つ（100ポイント）押印します。

（1日上限2スタンプ）

年度内ポイント交換上限は10,000ポイントです。（100P=100円）

ポイント交換を希望する方は、翌年度4月中に、北杜市社会福祉協議会窓口に、介護支援ボランティア活動評価ポイント活用申請書に「元気よぼう手帳」を添えて、提出してください。

- ボランティアとしての登録はグループ単位ではなく個人単位となりますので、この制度に参加する／参加しないはみなさん個人の自由意思で判断してください。
- 本制度を利用して「元気よぼう手帳」の配布をうけるために、約30分のボランティアスタートアップ研修を北杜市社会福祉協議会（たかねの湯前）で事前に受ける必要があります。ある程度の人数ごとにまとめて申し込む必要があるため、29日の説明会に参加された方のうち登録を希望される方は9月1日の午後に研修を受けに行くことになりました。
- 29日に説明会に参加されなかった方で、ボランティアとしての登録を希望される方は、まず「ボランティア登録希望」を世話人まで申し出てください。人数が集まり次第日程を調整したいと思います。

### 3) これからの予定

熊造園さんは、基本的に毎週金・土・日曜日に梅之木遺跡に来ており、市民ボランティアの参加があれば、サポートを行っています。我々は、そこまで体力・気力が続きませんので、今まで通り金・土曜日の午前中のみ参加、ということにしていますが、「日曜日なら」、とか、「午後なら」大丈夫、という日があれば熊造園さんとマンツーマンで作業していただいても結構です。

近々には参加希望をメールで募りますが、今回から、返信のあった参加希望を皆さんにもフィードバックして、『x xさんが来るのなら、その日に行こう』といったことにも利用していただけるようにしていこうと思っています。また、『せっかく縄文住居ができたのだから、ここでいろんなイベントをやったら』というご意見もいただきました。イベントとなるといつも以上に張り切るメンバーも多いことですので、今後は倶楽部運営委員とも連携して、ふるさと倶楽部の催しも企画していければと考えています。

直近の作業として、9月は材木の切り出しを予定しています。まだ、石斧で樹木を切り倒したことが無い方にとっては絶好の機会です。ぜひ参加してみてください。

10月（台風が過ぎ去ったころ?）には、また高遠の先まで石斧の原石を拾いに行く予定です。

石斧作りの苦労を経験した人にとっては、途中で割れてしまう苦い経験が思い起こされてしまうかもしれませんが、河原で荒割して小さくしておく重要性も良く判っている事と思います。

昨年の経験が早速活かせる機会がすぐ来るかもしれません。



1号棟（最初に復元された縄文住居）も  
2号棟（スケルトン状態で構造が見える縄文住居）にも新たに窓が取り付けられていました。  
我々が建設した3号棟で囲炉裏の煙の排煙を検証した結果から、1号棟・2号棟でも窓を採用したようです。  
なんだか、我々の試行錯誤の結果が活かされて誇らしく思えてきます。